19　　予言を信じさえすれば 　文法　否定形②　部分否定と全部否定

不思議な力を持つという女性は、の父を助けた後、なぜか姿を消していたが、ある時に向かう縦の前に突然現れ、縦に話しかけた。

㆑ゲテ縦ニ 、「郎　君　大　、①㆑カラ㆑㆑。」㆓ダシ薬　一　粒㆒ヲ、令㆓メテ縦ヲシテ**一レ** 之ヲ 云フ、「来　年、火　急ニ ㆑チテ官ヲ 帰㆑ラバ、㋐方　脱㆓セン 此ノ ㆒ヒヲ。吾ガ 薬　力、只ダ 保㆓スル一　年ノ ㆒ヒヨリ耳ト。」縦 ②不㆓信㆒ゼ。㆓ル 其ノ 　㆒ヲ。隠　娘　モ 無㆑ク所㆑ 受クル、但ダ 沈　酔シテ 而　去ル。後　一　年、縦ハ 不㆑ ㆑メ 官ヲ、果タシテ ㋑卒㆓ス 于　陵　州㆒ニ。③㆑此　㆕　㆔　㆓隠　㆒矣。

語注

郎君＝若様。ここでは縦のこと。

洛＝洛陽。当時の都であった。

保＝（災いから）守る。

繒綵＝絹織物。

【原文】

語　縦　曰、「郎　君　大　災、不　当　適　此。」出　薬　一　粒、令　縦　呑　之　云、「来　年、火　急　抛　官　帰　洛、方　脱　此　禍。吾　薬　力、只　保　一　年　患　耳。」縦　不　甚　信。遺　其　繒　綵。隠　娘　一　無　所　受、但　沈　酔　而　去。後　一　年、縦　不　休　官、果　卒　于　陵　州。自　此　無　復　有　人　見　隠　娘　矣。

問一　次の「内容わしづかみ」の空欄に本文中の漢字を書き入れよ。

隠娘は縦に〔　　　　〕があるので、〔　　　〕を与えて帰るように忠告した。縦は〔　　　〕じず、〔　　　　〕後に、不幸な目にあった。

問二　波線部㋐の読み方を、送り仮名も含めてひらがなで答えよ。（現代仮名遣いでよい。）〈4点〉

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

問三　波線部㋑のここでの意味を答えよ。〈4点〉

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

問四　チェック問題　否定形②　部分否定・全部否定

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 復タ 不㆓ 〜㆒〔セ〕 | | 不㆓ 復タ 〜㆒〔セ〕 | | 常ニ 不㆓ 〜㆒〔セ〕 | | 不㆓ 常ニハ 〜㆒〔セ〕 | |
|  | 復た～〔せ〕ず |  | 復た～〔せ〕ず |  | 常に～〔せ〕ず |  |  |

　⑴　次の表を完成させよ。〈1点×5〉

⑵　次の文を書き下し文にせよ。　〈2点〉

進者未必賢。　（進者＝昇進する人）（論衡）

〔進めらるる者　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

問五　傍線部①の解釈として最も適当なものを選べ。 〈6点〉

ア　陵州へ行かなければならない。

イ　陵州へ向かうのはよくない。

ウ　洛陽を越えて南へ行く必要がない。

エ　洛陽に進んで行かざるを得ない。

〔　　　〕

問六　傍線部②について、

　⑴　書き下し文にせよ。 〈5点〉

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

　⑵　適当な言葉を補って現代語訳せよ。 〈8点〉

〔

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

問七　傍線部③の解釈として最も適当なものを選べ。 〈8点〉

ア　このために、人々は隠娘を見つけることはできなかった。

イ　このために、人々は決して隠娘を探すことはなかった。

ウ　この後、二度とは隠娘を見た人はいなかった。

エ　この後も、今までどおり隠娘に会おうとしなかった。

〔　　　〕

問八　本文の内容に合致するものを一つ選べ。 〈8点〉

ア　隠娘は、状況と薬の力を理解しない縦に、薬を与えなかった。

イ　隠娘は、縦が災いから逃れるためには辞職が必要だと助言した。

ウ　縦は、一緒に帰ろうという隠娘の提案に乗らず、陵州へ向かった。

エ　縦は、隠娘と話した後、お礼をしなかったために不幸にあった。

〔　　　〕

【解答】

問一　大災　薬　信　一年

問二　まさに〈4点〉

問三　死ぬ〈4点〉

問四　⑴　〈1点×5〉

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 復タ 不㆓ 〜㆒〔セ〕 | | 不㆓ 復タ 〜㆒〔セ〕 | | 常ニ 不㆓ 〜㆒〔セ〕 | | 不㆓ 常ニハ 〜㆒〔セ〕 | |
| 今回もまた～しない。【全部否定】 | 復た～〔せ〕ず | 二度とは～しない。【部分否定】 | 復た～〔せ〕ず | いつも～しない。【全部否定】 | 常に～〔せ〕ず | いつも～するとは限らない。【部分否定】 | 常には～〔せ〕ず |

⑵　未だ必ずしも賢ならず。〈2点〉

問五　イ〈6点〉

問六　⑴　甚だしくは信ぜず。〈5点〉

⑵　縦は隠娘の忠告をそれほどは信じなかった。〈8点〉

問七　ウ〈8点〉

問八　イ〈8点〉

【現代語訳】

　縦に告げて言うには、「若様には大変な災難がかかっています、ここ〔＝陵州〕に行くべきではありません。」と。薬一粒を取り出し、縦にこれを吞ませて言うには、「（縦は）来年、大急ぎで辞職して洛陽にお帰りになるなら、まさしくこの災いから逃れるでしょう。私の薬の効果は、ただ一年間災いから守るにすぎません。」と。縦は（隠娘の忠告を）それほどは信じなかった。（そして）絹織物などを贈った。（しかし）隠娘は一つも受け取らず、ただ深く酒に酔って立ち去った。それから一年たって、縦は官職を辞めず、ついに陵州で死んだ。この後、二度とは隠娘を見た人はなかった。

【書き下し文】

にげてはく、「あり、ににくべからず。」と。をだし、をしてをましめてふ、「、にをちてにらば、にのひをせん。が、だのひよりするのみ。」と。だしくはぜず。のをる。もくるく、だしてる。、はをめず、たしてにす。よりたのをることるし。

【補充問題】

問１　「大災」（１行目）と同じ意味で用いられている語を、本文中から二つそれぞれ一字で抜き出せ。

問２　「令縦呑之」（２行目）を書き下せ。

問３　「但沈酔而去」（５行目）とあるが、この時の隠娘の心情として最も適当なものを選べ。

ア　思いがけず縦と再会でき、また縦が出世したことを、喜んでいる。

イ　縦の父昌裔がその場にいないということを知って、深く悲しんでいる。

ウ　贈り物で隠娘の機嫌を取ろうという縦の浅はかさに、いら立っている。

エ　自分の忠告に縦が従わないであろうことを予見して、落胆している。

【補充問題解答】

問１　禍・患

問２　縦をして之を呑ましめて

問３　エ